

助六 月替わり弁当
七夕弁当

7月



7月の風物詩・七夕を旬のお野菜やお麩の彩りで表現したお弁当です。

【7月限定】七夕弁当 1個 2,000円 (税別)

7月の
こだわり
メニュー

- ・飛騨牛しゃぶしゃぶ
- ・出し巻き玉子
- ・大根煮
- ・青もみじ麩
- ・サーモン焼き
- ・海老天ぷら

※ご予約はご来店、電話にて、ご指定日の前日までに品名・個数をお知らせください。
※個数変更またはキャンセルの場合は、ご指定日の前日までにお知らせください。
※お弁当は配達のみとさせていただきます。※内容は多少変更になる場合がございます。

短冊に願いを込めて、
七夕

☆笹飾りには意味があるそうです☆
紙衣は裁縫上達/巾着は金運UP/投網は豊漁/
屑籠は物を大切にできる/吹き流しは機織り上達/
千羽鶴は家族の長寿/短冊は願いが叶い文字が上達

助六で、大切なご家族やご友人と
織姫と彦星に願い事をしてみませんか。

日本の四季、風土、地理

解答と解説

日本で最も海から遠い街は長野県佐久市(群馬県県境付近)で、そこから近い海が神奈川県相模湾、もしくは新潟県上越市で、直線で115キロ。
大垣市から揖斐川を下って伊勢湾までおよそ39キロですので、その距離の遠さが伺えますね。
岐阜は海のない県ですが、近くから新鮮な海の幸も頂く事が出来、ありがたさが増しますね。



2016
6月20日号
Vol. 54
【発行】2016. 6. 20

助六新聞

四季料亭
助六
岐阜県大垣市高砂町1-20

日本の人生儀礼

「法要」

ほうよう
英語: Buddhist memorial service

「法要」とは住職にお経をあげてもらふことをいい、法要と後席の食事も含めた行事を「法事」と呼びます。「初七日」や「四十九日」「一周忌」と同様、故人が亡くなった後に行う重要な法要です。そもそも法要とは、仏になった故人を供養するという意味の仏教用語で、追善供養ともいいます。法要は故人を偲び、冥福を祈るために営むものなのです。冥福とは、冥途の幸福のことで、故人があつた世でよい報いを受けてもらうためにこの世に残された者が供養をします。



また法要は、故人が設けてくれた人と人とのご縁、「この人がいたから自分がいる」というつながりを再確認し、故人への感謝の思いを新たに、自分自身を見つめ直す場でもあります。一般には三十三回忌、もしくは五十回忌をもって「弔上げ」とし、法事の締めくくりとしています。



助六 ご法要のお勤め

助六では祭壇、お花の手配など、宗派を問わずご用意させていただきます。人数等お気軽にお問い合わせください。

法要のお料理

桔梗コース ¥7,000 (サービス費別、税別)
蘭コース ¥8,000 (サービス費別、税別)
特別懐石 ¥10,000 (サービス費別、税別)

椅子席、掘りごたつ個室4〜60名様まで
人数等お気軽にご相談下さい。

法要のお勤め
祭壇、お花の手配など、宗派問わずご用意させていただきます。
15名様以上〜、送迎も承ります。

お祝いのお料理

ガーベラプラン ¥10,000 (サービス費別、税別)
百合プラン ¥12,000 (サービス費別、税別)
薔薇プラン ¥14,000 (サービス費別、税別)

椅子席 又は、掘りごたつ個室をご用意いたします。
人数等お気軽にご相談下さい。

結婚、和ウェディング、お祝い初め、七五三など様々なお祝い行事に対応いたします。

女将の梅酒が漬かりました!

梅のおいしい季節になりましたね。
梅は三毒を断つといわれ、クエン酸・リンゴ酸がとくに豊富で、疲労回復に効果が期待できます。暑い季節、女将のさっぱりとおいしい梅酒をご賞味ください。
<2015年6月仕込み>

ロック・ソーダ割り・水割り・湯割り等、お好みでどうぞお楽しみください。

ひんや〜り カキ氷
ひんやり冷たくておいしいカキ氷。今だけのcool sweetsをどうぞ!

土用丑の日、七月三十日
助六のプレミアム鰻重。贅沢に鰻2枚をふっくら香ばしく焼き上げました。今だけのとっておきをご賞味ください。

プレミアムうな重 7/25〜30まで

イベント開催 7/1〜31

夏季限定

就職した(みはる)は、魚のねたケースがあり、その上に煮物類が炊いて置かれていました。お客様はカウンターに座り、食べたいもの(お寿司ではなく)を注文する店でした。

助六 社長 今月のコラム

料理長の部屋 <http://hideyuki-nakamura.jimdo.com/>
女将ブログ http://blog.livedoor.jp/chikage_sukeroku/
facebook 中村 智景 または 四季料亭 助六 検索

四季料亭
助六

岐阜県大垣市高砂町1-20
Tel.0584-81-1290
<http://www.sukeroku.com>
✉sukeroku@oregano.ocn.ne.jp



春夏秋冬を 楽しむ暮らしの
歳時記手帖
7月 July



旧暦7月は文月(ふみつき)と呼びます。文月の由来は7月7日の七夕に、書の上達を願う詩歌を献じたり、書物を夜風にさらす風習があるからと言われていたようです。しかし、七夕の行事は奈良時代に中国から伝わったもので、もともと日本に無かったものであり、稲の穂が含む月であることから「含み月」「穂含み月」の意であるとするという説もあるようです。
今年の短冊には昔々にならって、ご家族やお友達等も一緒に、詩や短歌に思いを込めて書いてみるのもいいですね。